

序文

アルコールリクス・アノニマスは、経験と力と希望を分かち合って共通する問題を解決し、ほかの人たちもアルコールリズムから回復するように手助けしたいという共同体である。

- ・AAのメンバーになるために必要なことはただ一つ、飲酒をやめたいという願っただけである。会費もないし、料金を払う必要もない。私たちは自分たちの献金だけで自立している。
- ・AAは、どのような宗教、宗派、政党、組織、団体にも縛られていない。また、どのような論争や運動にも参加せず、支持も反対もしない。
- ・私たちの本来の目的は、飲まないで生きていくことであり、ほかのアルコールも飲まない生き方を達成するように手助けすることである。

(AA グレープバイン社の許可のもと再録)

AA 中四国セントラルオフィスとは

AA 中四国セントラルオフィスは、中四国地域内にAA サービスを発信する基地であり、地域のまだ苦しんでいるアルコールにAAの連絡をとるための窓口として開設されました。

地域内のAAグループが、“まだ苦しんでいるアルコールにメッセージを運ぶ”という目的を達成するための支援業務を行います。

セントラルオフィスは、地域のAAグループ及びAAメンバーからの献金によってのみ運営されています。

伝統5：各グループの本来の目的はただ一つ、いま苦しんでいるアルコールにメッセージを運ぶことである。

【 C S C O サービス業務 】

◎本人への対応

- ◆回復が可能な病気であることを伝える。
- ◆AAの概略を説明し、ミーティングの案内をする。

◎家族への対応

- ◆回復が可能な病気であることを伝える。
- ◆AAの概略を説明し、ミーティングの紹介をする。

◎専門家との協力

- ◆医療、福祉保健関係等の専門家に、AAのことを正しく伝える。
- ◆専門家から差し向けられた本人と、AAグループ・ミーティングの橋渡しをする。
- ◆専門家からのAA紹介、説明の依頼に応じる。

◎地域社会一般への広報

- ◆新聞、テレビ等のマスコミにAAの情報を正しく伝えると同時に、問い合わせに応じる。

◎グループ・メンバーとの連絡

- ◆各グループからの連絡事項を中継する。
- ◆各グループや各委員会への問い合わせ先として利用する。
- ◆JSO 及び各地域のセントラルオフィスとの連絡及び情報の交換を行う。

◎印刷物の発行、書籍の販売

- ◆地域のミーティング会場案内を発行する。
- ◆AA出版物の販売、発送を行う。

伝統8：アルコールリクス・アノニマスは、あくまでも職業化されずアマチュアでなければならない。ただ、サービスセンターのようなところでは、専従の職員を雇うことができる。

伝統9：AAそのものは決して組織化されるべきではない。だがグループやメンバーに対して直接責任を担うサービス機関や委員会を設けることはできる。

【 AAがしないこと 】

- ◆回復へと導く動機づけ◆メンバーになることへの勧誘
- ◆委託研究あるいはそれに携わること◆出席記録や事例の保存
- ◆社会福祉機関の“協議会”への参加(AAメンバーやグループ、サービスオフィスは、よく協力している)
- ◆メンバーの追跡調査や管理◆医学的あるいは心理学的な診断や予後診断◆解毒やリハビリ、看護、入院、投薬など、医学的あるいは心理学的な治療
- ◆宗教サービスの提供や、療養の後見人になること
- ◆酒害教育に従事すること◆住居・食料・衣類・仕事・金銭、その他の社会福祉サービス
- ◆家庭相談や職業相談
- ◆AAのサービスに対して報酬を受け取ることや、AA外部からの寄付を受け取ること
- ◆更生保護委員会や弁護士、裁判所、福祉機関、雇用者などに参加者の情報を提供すること

伝統7：すべてのAAグループは、外部からの寄付を辞退して、完全に自立すべきである。

伝統10：アルコールリクス・アノニマスは、外部の問題に意見を持たない。したがって、AAの名前は決して公の論争では引き合いに出されない。

《 グループでのアノニミティ 》

AAに足を運んできた人の個人のプライバシーは確実に守られるよう、わたしたちはお互いに最大の努力を払っている。お互いのプライバシーを守る約束も、アノニミティの意味の一つであり、AAミーティングで一人一人が自分の飲酒のトラブルにまつわる話ができるのも、そこで話された個人の秘密をわたしたちは明かさなからである。

わたしたちはそこで分かち合われた回復の話だけを自分のものにしていく。

グループの中では、自分のフルネームを名乗ることも、連絡先を教えることも、一切明かさなことも、その人の自由である。どこまで自分のプライバシーを明かすかは自分で決められる。